



# ぼくらが守る！ さっぽろの食の安全・安心！

～子ども食品Gメン体験事業～

朝6時30分に中央区にある札幌市保健所に集合し、バスで中央卸売市場へ向かい、職員から仕事についての説明を受けた後、さっそく果物や野菜などのセリを見学しました。参加した子どもは、「むずかしい言葉(日本語じゃないみたいっ)」を言い合っていて、びっくりしたけど、かっこよかった。」と感想を聞かせてくれました。



▲魚の温度を測っているようす

この「子ども食品Gメン体験事業」は、市内の小学4～6年生を対象に事前に募集した9組18名の子どもと保護者が、中央区にある札幌市中央卸売市場を訪れ、市場で働く人のようすやセリを見学したり、食品を扱う施設の衛生状態を点検・検査を行う「食品Gメン」こと「食品衛生監視員」の仕事体験するということで、札幌市保健所が行ったものです。

当日(平成24年8月2日)は、朝6時30分に中央区にある札幌市保健所に集合し、バスで中央卸売市場へ向かい、職員から仕事についての説明を受けた後、さっそく果物や野菜などのセリを見学しました。参加した子どもは、「むずかしい言葉(日本語じゃないみたいっ)」を言い合っていて、びっくりしたけど、かっこよかった。」と感想を聞かせてくれました。



▲食器のよごれをチェックしているようす

食の安全・安心についての取組を学び、正しい知識や理解を深めてもらうため、「さっぽろ子ども食品Gメン体験事業」が行われました。

# 子どもの まちづくり体験

～さまざまな体験を通して将来のさっぽろを支える子どもたち～



▲丘珠空港での出迎えのようす

この「東区子どもまちづくり体験塾」は、東区内の小学4～6年生を対象に事前に募集した15名の子どもが、区内にあるさまざまな場所を訪れ、札幌のPRや交通安全のよびかけなどを通して「まちづくり」について学び、関心をもってもらうために施設や企業に協力してもらい東区役所が行ったものです。

当日(平成24年7月27日)は、丘珠空港、北海道中央自動車学校、札幌村郷土記念館の3か所を訪ねました。最初に訪れた丘珠空港では、札幌を訪れた観光客やビジネスマンを歓迎するためのウェルカムボードをつくったり、到着ロビーでの出迎えを行ったりと札幌をPRする活動を行いました。このほか、飛行機やヘリコプターの格納庫の見学や、空港ビル周辺の清掃を行いました。間近でヘリコプターや飛行機が飛び立つところを見た小学4年生の女子は「ふだんは入れない場所なので、とてもワクワクした。」と感想を聞かせてくれました。

最後の札幌村郷土記念館では、札幌の開拓の歴史などを学び、「体験塾」は終了しました。参加した子どもたちは、「ふだん行けない場所を見たり、体験したりとてもおもしろかった。」いろいろな仕事があり、たくさんの方がまちづくりに関係していて、とても勉強になりました。」など、感想を聞かせてくれました。

第7号

平成24年10月発行



# 子どもも通信

この通信では、「子どもの権利」に関するさまざまな取組をお知らせします。

「まち」の成り立ちを学び、さまざまな体験を通して地域の「員」としてまちづくりへの興味や関心をもってもらうため、「東区子どもまちづくり体験塾」が行われました。



▲交通安全のよびかけのようす

## 子どもの権利の日 記念行事

11月20日は「さっぽろ子どもの権利の日」です。この日にちなんで、子どもたちが将来の夢やさっぽろの未来について話し合うイベントを行うので、参加してくれる子どもを募集します。

日時 11月17日(土)

午前10時～午後4時30分

場所

札幌エルプラザ

(北区北8条西3丁目)

対象

市内に住む(または市内の学校に通う)小学5年生から高校3年生

申し込み先

札幌市青少年女性活動協会

☎ 671-4121

FAX 671-4104

✉ kikaku.syaa@gmail.com

## 子どもの権利の日



## 子どもの権利のPR ロゴマーク決定!

子どもの権利条約や子どもの権利について、多くの市民の皆さんに、関心をもってもらうためのロゴマークをつくりました。

ロゴマークは、子ども議員が考えたキャッチフレーズをもとに、円山動物園や児童会館などで人気投票を行い、3,597人の子どもの声から選ばれました。



子どもの権利条約があるまち さっぽろ

札幌市子ども未来局子どもの権利推進課  
〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目  
大通バスセンタービル1号館3階  
☎ 011(211)2942 FAX(211)2943  
✉ kodomo.kenri@city.sapporo.jp